

白石の新鮮野菜 う～んとうまいから、食ってみてけらい～ん!

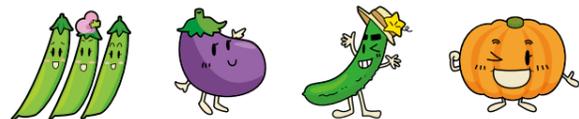
～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進します～

白石市農産物直売所連絡協議会では会員を募集しています。市内で直売活動をされている方などで興味のある方は、気軽にお問い合わせください。 農林課 ☎22-1253



●今月の人気農作物

サヤインゲン、トマト、ナス、キュウリ、カボチャ など



青っ葉市直売所

月1回の「サービスデー」(定期市)を開催中! 各店とも月初めの販売日に開催します。お買い上げ金額にかかわらず、好きな新鮮野菜1点をサービスします。

①ポーチパーク内 毎週水・土曜日9:00～12:00

②本郷店(旧国道113号角田街道踏切そば) 毎週水曜日9:00～12:00

③いきいきプラザ 毎週土曜日9:00～12:00

※スーパービック白石店でも新鮮野菜を販売しています。

☎大槻 久江 ☎25-8572

バーバ工愛市(クラブいち)

今月のオススメは人気農産物のほか、生花、加工品、漬物など(惣菜などの販売は当面お休みします)。

①旧JAみやぎ仙南白石地区事業本部ななめ向かい (バーバ工愛市のオレンジ色のぼり旗が目印です!) 毎週水曜日9:00～12:00

②JAみやぎ仙南福岡支店構内(旧あぐりハウス白石) 毎週土曜日9:00～12:00

☎JAみやぎ仙南女性部白石地区バーバ工愛市 ☎25-3531

羽山朝採り市 毎週土曜日9:00～12:00

これからの季節が旬のトマトやナスなどを、その日の朝に収穫し、販売しています。新鮮な野菜を一度ご賞味ください!



●場所 犬卒都婆公会堂前
☎小畑 胖 ☎27-2236

▲新鮮なトマトは甘くて瑞々しいよ

軽トラ市 毎週金曜日9:00～12:00

●場所 すまいるひろば
☎四電 ☎29-2451、山田 ☎26-1345

馬牛沼産直センター

毎週火・木・土・日曜日9:00～18:00

●場所 国道4号沿い馬牛沼付近

☎馬牛沼産直センター ☎25-0520

bagyunuma@yahoo.co.jp



小原いきいき直売所 毎日10:00～15:00営業!

(悪天候により休業あり)

ミントなどの山野草も取り揃えています!

●場所 小原材木岩公園内

☎小原いきいき直売所 ☎29-2760



▲ミントの苗

小十郎の郷 毎日9:00～18:00営業!

～農産物生産者募集中!～

白石産新鮮野菜や白石温麺、ヨーグルト、卵、味噌など地場産品のほか、すまいる大使(観光大使)の「ニホンジン」のCD、Tシャツも好評発売中!

珍しい紫色や白色のサヤインゲンも取り扱っています。



▲スタッフのオススメ。えぐみ



▲紫色のサヤインゲンは茹でると鮮やかな緑色に!

●場所 JAみやぎ仙南白石地区事業本部構内(福岡長袋字八斗時)

☎小十郎の郷 ☎22-0881

http://www.kojuro-sato.com

百姓市場 毎週火・日曜日10:00～13:00

新鮮野菜のほか、放し飼いのニワトリが産んだ美味しい卵「のはらのたんたん」(10個入り350円)は大人気商品。黄身が濃くて、とても濃厚な卵です。ぜひ一度お試しください!



●場所 ポーチパーク内

☎佐久間義昭 ☎25-6836

※しろいし産の新鮮な旬の野菜や花、漬物、放し飼いの卵などを販売しています(直売所により品ぞろえは異なります)。

※白石市農産物直売所連絡協議会加盟店のみ掲載しています。「SSN」は「白石・新鮮・農産物」の略称です。

応募方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内(未発表のものに限る)。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

歌壇

岩崎 聰之介 選

山吹の花咲く頃よ父母とはるかなる日に味噌をつくりし 高子うぶん
さくら花散りゆく水面をきらめかせ鯉の青鱗の静かに動く 阿部はぎの
誘われて思いがけざるプレゼント里のレストランにかにご飯食ぶ 大庭美智子
蒲公英の見分けを知りて興味わく摘みしおおかたは西洋うまれ 末吉アツ子
空青く白壁ひかる白石城つじの花にひと足を止む 別当内信夫
ウグイスの声に起こされ深呼吸窓を開ければ洗濯日和 佐藤 啓子
見はるかす広き田圃の中程に人ら動きぬ田植え近くか 平間 久子
春日和合告げんと孫来たる頭上に大きく丸を描きて 後藤今朝雄
目に映る木々の緑が深まれば弱りゆく身に力加わる 荒木喜代子
雨蛙枝にいるがに芽吹きたるアジサイの葉のつやつやとして 寺崎 悦子

【評】一首目、季節の花とともに浮かんでくる父母との思い出を詠う。結句の余韻もいい。二首目、散りゆく花と鯉をうまく織り込んだ観察の一首。三首目、かにご飯は、例えば「母の日」のプレゼントであったらうか。「食ぶ」は、飲む、食うの丁寧語で、頂く。

俳壇

山家 弘子 選

服部 忠孝
岩松 隆志
沼田 営火
末吉アツ子
和田 游稀

柳壇

四電 英夫 選

【評】一句目、荒ぶる若葉青葉の風に、口を一字に結んで立っている男の子。その眉は黒々として凛凛しく驚いたのである。作者は子どもが好きなのであろう。キリリとした男児が描けた。
二句目、初夏の湖は満満たる水を湛え、山々の若葉を映じている。色々の鳥の鳴き声に心が満たされてくる。突然に郭公が啼いた。その透きとおった大きな声が湖をわたり、笹となつて返ってくる。なんとも瑞瑞しい句。
三句目、老いても向学心に燃え早朝に起きて勉強を怠らない先生が、今日はフランスの作家で啓蒙思想家のルソーの話である。海のように広く深いお人柄に心が満たされていく幸せが描けた。

景品は忘れた頃にやってくる 末吉アツ子
ストレスのネジを締めたり緩めたり 草野 清
楽天の投打絡まぬもどかしさ 阿部はぎの
和製網いつになつたら見れるやら 高子うぶん
階段の上り下りに高齢感 大庭美智子
夕暮れに田植え近いと蛙鳴く 佐藤 啓子
生徒等がくれし鉢植え庭飾り 村上 照夫
亡き父母に夢で会いたい臘月 小室 蓉子
町内でただ一軒の鯉のぼり 鎌田 三無
野鳥の声聞ける幸せ過疎に住み 佐藤 啓子

【評】一句目、当選の発表は発送を以って代えらると言つて景品を送らなかつた会社があつたとか。送られてきた分だけままだましか。二句目、ストレスの多い世の中。いかに上手くストレスと付き合ふかが処世術。腹を立てず、不平不満を言わないことが長生きの秘訣。三句目、昨年のチャンピオンが最下位争い。入梅と共に湿つた打線。一日も早い梅雨明けが待たれる。「マー君が海の向こうで悔しがり」。

市民文芸

小判草日に日に輝きそめにけり 跡部 祐子
一と巡り二た巡りして苗の市 岩澤 伍峯
高校へ自転車通学花吹雪 大庭美智子
石段の隙間に咲きぬ花すみれ 佐藤 孝子
山若葉空の青さと競いあい 別当内信夫

平成25年度市民文芸年度賞が決定しました

受賞された皆さま、おめでとうございます。(敬称略)

<p>【歌壇の部】 晩秋のひかり差し入る居間の壁黄楊ひともの影絵を映す (十二月号) 末吉アツ子</p>	<p>【俳壇の部】 吊し難ひと針ごとに思ひはせ (五月号) 佐藤 孝子</p>	<p>【柳壇の部】 魚屋の売り声高き文化の日 (二月号) 沼田 営火</p>	<p>平成の地球あちこちきな臭い (六月号) 佐藤 啓子</p>	<p>初級に手を突っこんで揉る若荷 (九月号) 岩澤 伍峯</p>	<p>用済んだ後に出てくる採し物 (四月号) 高子うぶん</p>	<p>内安の陰の部分の物偏高 (三月号) 斎藤 典子</p>
--	---	--	--	---	--	--